

(5) 指導の記録

活動内容・指導内容・反応等	考 察								
<p>① 小数（第1位の数）×整数（1位数）のかけ算の演算形式を理解させる。</p> <p><b>問題文提示</b></p> <p>きゅう食のスープを1人に0.2ℓずつ配ると、7人ぶんでは、何ℓいるでしょうか。</p> <p><b>題意について話し合う</b></p> <p>T この問題でわかることは、  C<sub>7</sub> 0.2ℓずつ配ると7人ぶんでは、何ℓ  C<sub>12</sub> ちがう、0.2ℓと7人です。  C全 そうです。</p> <p>T もとめることは、  C<sub>15</sub> 7人では、何ℓか、です。  C全 同じ。  （ハンドサインを出さない子3人いる。）</p> <p>T この問題は何をすればいいのか。  C<sub>9</sub> 0.2ℓを7人に分けるんです。……  （と言いつつ、自分もわからなくなったらしく首をかしげる。）  C<sub>9</sub> ちがう、7人を分けるんだよ。  C全 えっ？。人間を分けるの？  C<sub>9</sub> あー、おうか。でも0.2ℓを7人に分けるのかなあ。  （みんな考えこむ。）  T どうすればいいんだろうか。  C<sub>12</sub> ひとりに0.2ℓずつ7人分ということでしよう。</p> <p><b>この問題からわかることは</b></p> <p>C<sub>9</sub> なーんだ、全部でいくらかということか。</p> <p>T みんな、どう？  C全 それでいいんです。</p>	<p>C<sub>3</sub>, C<sub>18</sub> 欠席</p> <p><b>つかむ段階</b></p> <p>ここは、<math>0.2\ell \times 7</math>という式を話し合いから出させるのが、とっと早くいくのだが、<math>0.2\ell + 0.2\ell + \dots + 0.2\ell = 1.4</math>の解き方をさせないため、どういう式をたてたらよいかという発問はしなかった。  これは、昨年度の研究の反省からきているものである。  （このことは、指導の反省に記述する。）</p> <p>累加の意味を含んだことばが児童から出ればよいと思っていたが、C<sub>9</sub>から、「全部でいくらかということか。」ということばが出たことはよかった。C<sub>9</sub>だからよかったのである。  （児童観参照）この子は、いつも最初は、混乱しているが、話し合いを続けているうち、突如、ひらめくので、この子の反応をめやすにして授業をすすめることが多い。</p>								
<p><b>自答をみる</b></p> <p>計算の状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><math>0.2\ell \rightarrow 2d\ell</math>  <math>2d\ell \times 7 = 14d\ell</math> 14dℓ → 1.4ℓ 2人</li> <li><math>0.2 \times 7 = 1.4</math>  （<math>2 \times 7</math>をかけて小数点はたしぎんのやり方でうつ） 12人</li> <li><math>0.2\ell + 0.2\ell + 0.2\ell + 0.2\ell + 0.2\ell + 0.2\ell + 0.2\ell = 1.4\ell</math> 3人</li> <li>図で書いて考えた 14ℓ 1人</li> </ol> <p>（机間巡視して、傾向のちがう子をえらんで黒板にやらせる。）</p> <p><b>問題を解くと</b></p> <p>黒板に出てやったもの</p> <table border="1" data-bbox="445 1555 816 1806"> <tr> <td>C<sub>8</sub></td> <td>C<sub>12</sub></td> <td>C<sub>9</sub></td> <td>C<sub>19</sub></td> </tr> <tr> <td>① 1.4ℓ ② 0.2 × 7 ----- 1.4</td> <td>① 1.4ℓ 0.2 → 2 2 × 7 ----- 1.4</td> <td>① ① ① ① ② ② ② 2ずつ 2 × 7 = 14ℓ</td> <td>① 1.4ℓ ② 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 + 0.2 ----- 1.4</td> </tr> </table> <p>14 → 1.4  dℓにして答えはもうどうす。</p>	C <sub>8</sub>	C <sub>12</sub>	C <sub>9</sub>	C <sub>19</sub>	① 1.4ℓ ② 0.2 × 7 ----- 1.4	① 1.4ℓ 0.2 → 2 2 × 7 ----- 1.4	① ① ① ① ② ② ② 2ずつ 2 × 7 = 14ℓ	① 1.4ℓ ② 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 + 0.2 ----- 1.4	<p><b>調べる段階</b></p> <p>問題の条件（累加）をとらえて自由に解かせる場面であるが左のような状況で解けなかった児童はひとりもいない。  ここでやる計算は「1.2計算」といって、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 答えをさがす</li> <li>② どうやってそうなったかをやらせることにしている。</li> </ol> <p>1の考えがもっと多くなると思っていたが、計算がかんたんだったせいか、表れたものは2だった。  自分だけでは、どうしたらいいかわからず困っていたものも、級友の板書事項をみて、それぞれノートしたようである。  全員が大体左の四種類の傾向に分類することができた。</p>
C <sub>8</sub>	C <sub>12</sub>	C <sub>9</sub>	C <sub>19</sub>						
① 1.4ℓ ② 0.2 × 7 ----- 1.4	① 1.4ℓ 0.2 → 2 2 × 7 ----- 1.4	① ① ① ① ② ② ② 2ずつ 2 × 7 = 14ℓ	① 1.4ℓ ② 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 + 0.2 ----- 1.4						